

設計課題 「美術館の分館」

I. 設計条件

この課題は、既存の美術館(本館)の隣地に、「分館」を計画するものである。この「分館」は、美術、工芸等の教育・普及活動として、市民の創作活動の支援、体験学習講座や創作活動で作製した作品等の展示、企画展等に使用するものとし、本館とともに市民の文化・芸術・創造の拠点となることを目的として計画する。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。(2) 敷地全体は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。なお、隣地から敷地へは自由に行き来できるものとする。(3) 敷地は、第一種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建蔽率の限度は60%、容積率の限度は200%である。(4) 電気、ガス及び上下水道は完備している。(5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。(6) 気候は温暖であり、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- (1) 構造種別は自由とし、地上3階建ての1棟の建築物とする。(2) 床面積の合計は、2,000㎡以上2,400㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋上設備スペース、屋上庭園及び屋外テラスは、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(娯楽スペース、テラス、設備スペース、駐車場等)については、床面積に算入するものとする。(3) 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する特別特定建築物に該当し、「建築物移動等円滑化基準」を満たすものとする。(4) 下表の要求室等は、全て計画する。

なお、「美術品収蔵庫」「燻蒸室」及び「修復作業室」を計画する必要はない。

Table with columns: 部門, 室名等, 特記事項, 床面積. Rows include: 展示室A~C, 多目的展示室, 展示室A/B/C, ホワイエ, アトリエ, 準備室, 講師控室, 吹抜け, エントランスホール, カフェ, ショップ, 多機能トイレ, 便所, 事務室, 会議室, 荷解き室, 屋内ゴミ保管庫, ポンプ室, 屋上設備スペース.

3. その他の施設等

- (1) 屋上庭園を、次のとおり計画する。① 屋外展示スペースとして創作アトリエ等において作製の彫刻等を展示し、休憩スペースとしても利用する。② 3階の床レベル(2階の屋上)に、10m四方以上を確保し、150㎡以上設ける。③ 樹木(樹高3m未満)を植栽するため、客土500mmの部分100㎡以上確保し、庭園内の通路と客土の上端を同レベル程度として計画する。④ 屋内から屋外への出入りについては、バリアフリーに配慮する。⑤ 展示スペース、植栽、通路、屋外ファニチャー(ベンチ等)を設ける。(2) 屋外テラスを地上に30㎡以上設け、公園への眺望に配慮する。また、屋外ファニチャーを設ける。(3) トラックヤードは、2tトラック(6.2m x 2m程度)が駐車できるものとし、荷解き室の搬入口に近接して設ける。(4) 駐車場は、平面駐車とし、車椅子使用者用として2台分、サービス用として1台分のスペースを設ける。なお、来館者用及び職員用の駐車場については近隣の「駐車場」を利用し、駐輪場については本館の「駐輪場」を利用するものとする。

4. 留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に特に留意して適切に計画する。(1) 公園への眺望に配慮する。(2) 分館と本館との来館者の動線を適切に計画する。(3) 教育・普及部門の展示関連諸室とアトリエ関連諸室を利用形態に応じ、適切に計画する。(4) 断面計画において、要求室の天井高さ又は天井ふとを適切に計画する。(5) 日射負荷抑制が必要な室のガラスは、Low-Eガラスを使用する。(6) 乗用エレベーター及び人荷用エレベーターを適切に計画する。(7) 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とする。(8) 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画、堅穴区画等)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、自動式のスプリンクラー設備等を設けないものとし、また、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。(9) 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙 I 及び答案用紙 II の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

Table with columns: 図面及び縮尺, 特記事項. Rows include: 1階平面図・配置図 1/200, 2階平面図 1/200, 3階平面図 1/200, 断面図 1/200.

2. 面積表(答案用紙 I に記入)

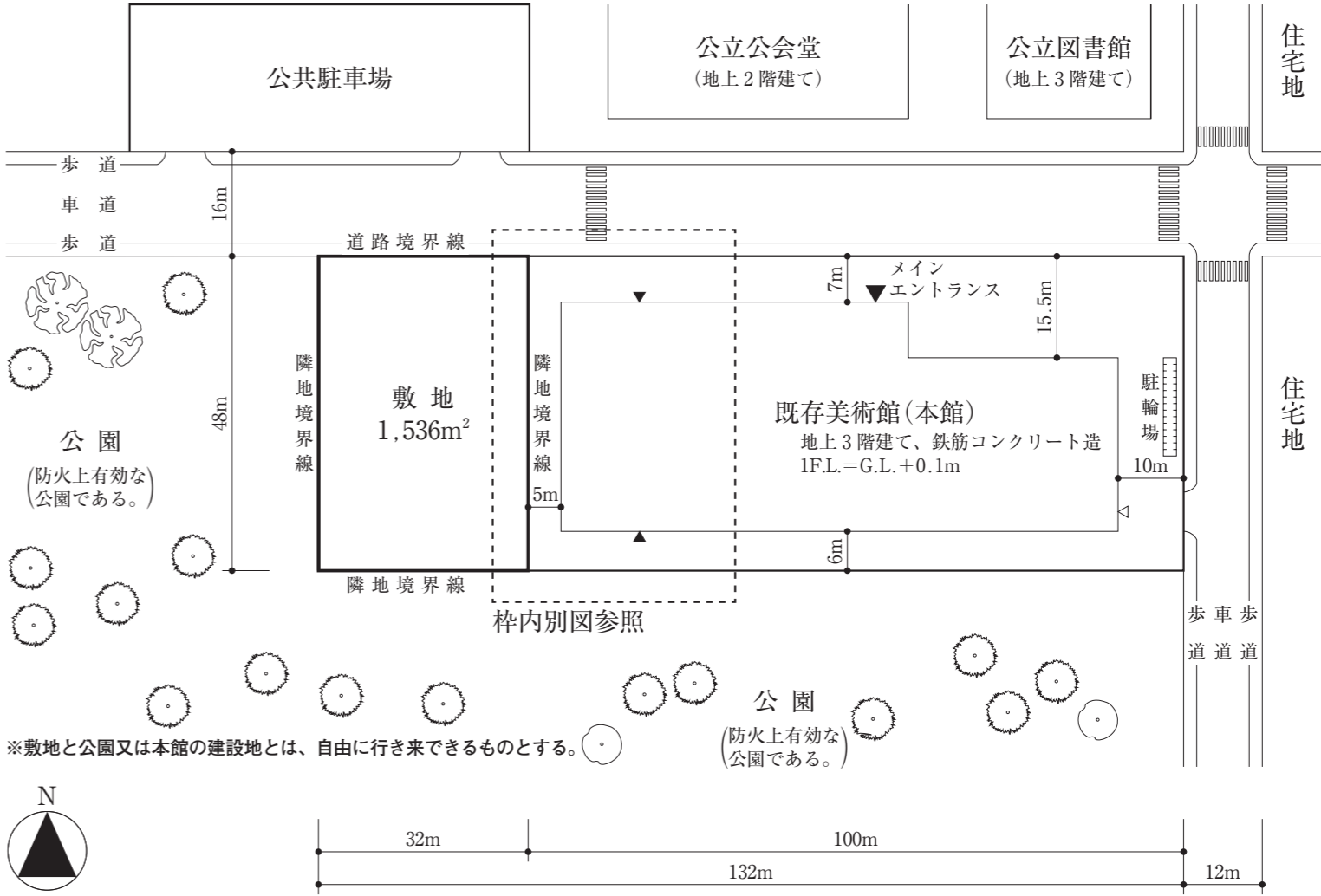
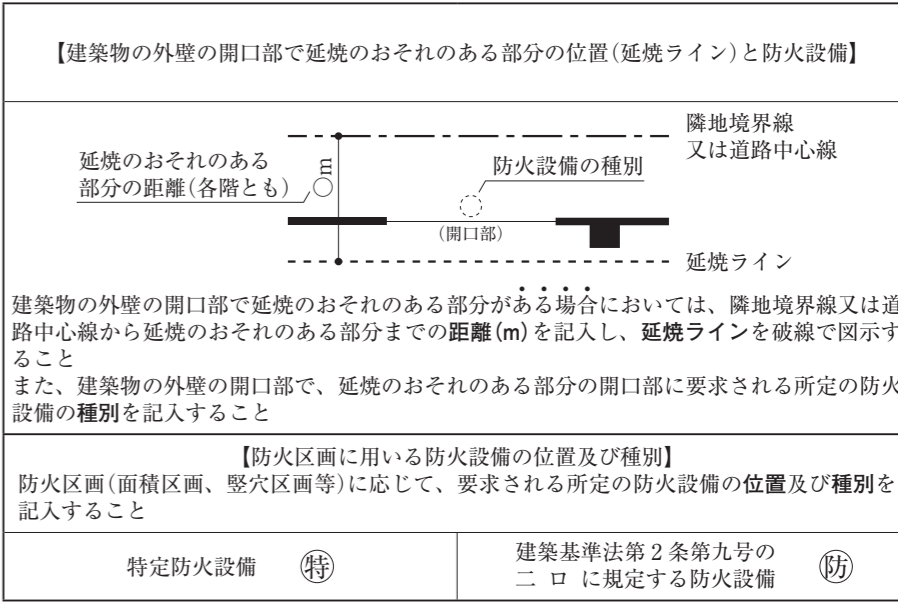
- (1) 建築面積を記入し、その算定式も記入する。(2) 各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙 II に記入)

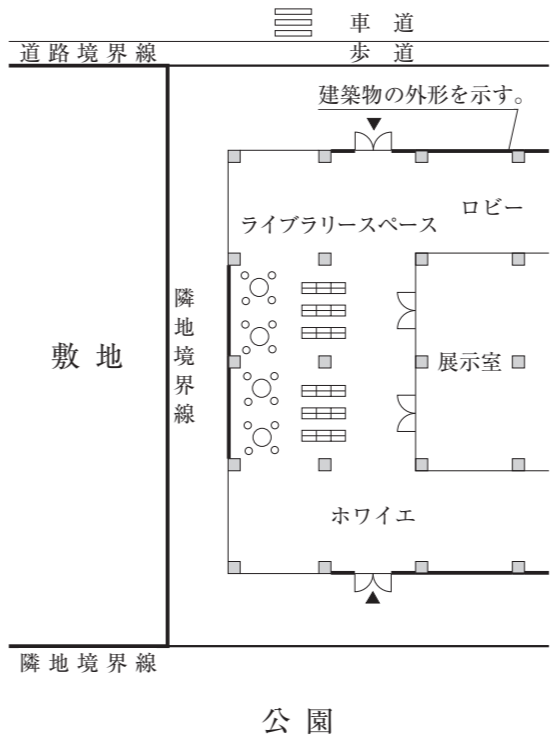
- 建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)~(10)の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない計画についても記述する。(1) 「展示関連諸室」と「アトリエ関連諸室」のゾーニングについて考えたこと。(2) 展示物等の移動に配慮した、荷解き室の搬入口から各展示室までの動線について考えたこと。(3) 分館と本館との来館者の動線について考えたこと。(4) 展示室A及びBについて、特記事項を踏まえたそれぞれの「室の設え」について考えたこと。(5) 吹抜け及びその周囲の空間において、多くの自然光を取り入れるために、平面・断面計画や開口部について工夫したこと。(6) 公園への眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、冷房時の日射負荷抑制を図るために、窓面の配置と大きさ及び日射遮蔽手法等について工夫したこと(Low-Eガラスによる工夫を除く)。(7) 屋上庭園(出口・通路及び客土範囲)における断面の構造等計画(梁断面、スラブ位置・厚さを決定したときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考えたこと。(8) 建築物の構造種別・架構形式・スパン割りに関して考えたこと及び主要な部材の断面寸法。(9) 多目的展示室の構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について特に考えたこと及び部材の断面寸法。(10) 多目的展示室の空調用吹き出し口の設置位置(床・壁・天井・幅木)を一つ以上選択し、その位置とした理由及び配慮したこと。

防火設備等の凡例

柱、壁、窓等の開口部等を明確に作図し、㊦、㊧等の表示については、必要な箇所(外壁の開口部も含む)に全て記入すること



敷地図 縮尺=1/1,000



※本館の主要構造部は耐火構造であり、開口部には必要な防火設備又は特定防火設備が適切に設けられている。(防火設備(種類)の表示については、記載を省略)

枠内別図(本館1階西側略平面図) 縮尺=non-scale

Exam registration form with fields: 試験場, 受験番号, 氏名, and a notes section.

注意 この問題用紙については、試験終了まで試験室に在室した者に限り、持ち帰りを認めず中途退出者については、持ち帰りを禁止します。